

令和7年度 認定こども園 まさみ幼稚園
教職員自己評価シート（まとめ）

担当：_____
氏名：_____

現況：評価区分については、A～Dで自己評価する。
A：十分達成されている。
B：ほぼ達成されている。
C：達成されているとは言えないが、努めている。
D：達成されていない。

A・・・4点 B・・・3点
C・・・2点 D・・・1点
と換算して現況の数値を表示した。
本年度は12月26日（金）に実施した。

評価 分類	具体的な自己評価項目	評価	評価項目の取組状況など
① 教育 課程 ・ 指導	1 園の教育理念や方針を理解し、目指す幼児の姿を具体的にイメージしている。	2.80	・ 現在の子どもたちに合った保育をしていく必要があると感じた。
	2 幼稚園教育要領解説を理解し、具体的な事例を想起している。	2.67	・ 心の成長が弱く遊びを自分から見つけられない子も多にいる。
	3 園の教育課程を理解しそれをもとに保育の計画を立てている。	2.75	・ 子どもたちの興味や関心を持ったことを見落とさず、できるだけスピーディに人的・物的環境を整えていけるように、心がけながら保育を行った。
	4 長期の指導計画はマンネリ化しないように常に見直しを行い、短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、変更できる順応性のあるものになっている。	2.75	・ 日々の保育では目の前の対応を優先しねらいや育てたい力を十分に意識した指導が行えなかった。
	5 幼児の生活が豊かになるような行事を、実態に合わせて精選している。	3.08	
	6 教師の願いや意図を持ち、幼児の発達や生活を見直し環境構成をしている。	3.16	
② 健康 と 安全 への 配慮	1 怪我や事故には特に気を付け、状況に応じた適切な配慮をしている。	3.50 ◎	・ 重度の食物アレルギーの子どもについて、緊急時の対応やエピペンの使用の仕方を再確認等担任同士や主任と情報を共有しあっている。
	2 日常生活における、幼児の心の状況や精神面に配慮している。	3.25 ◎	・ 職員の配置転換、人数の変動、補佐の必要な子に対しての職員の不足等、緊急時に対しては十分でないと感じた。
	3 健康な心と体を育てるための、『食育』に取り組んでいる。	2.91	・ 起こってしまったケガに対しては保育反省をしっかりと行い、保護者にも丁寧に対応することを心がけた。
	4 緊急事態発生時に教職員としての役割を自覚し、連携して行動ができるよう訓練を行うことで、共通理解を図っている。	3.25 ◎	
	5 幼稚園の教職員として、自分自身の心身の健康に常に配慮しながら勤務している。	3.16	
③ み と り と 理 解 ・ 対 応	1 一人ひとりの幼児をよく観察し、言葉にならない思いやサインを受け止め、幼児同士の関わりの中でその姿の内にある心の動きについて、推察するようにしている。	2.91	・ 自分の気持ちを伝えることや、相手の気持ちを考えることがなかなか上手いかない子が増えている。
	2 幼児の気持ちに寄り添い共感しながら、一緒によく遊んでいる。	3.16	・ 年齢と発達が伴っていない子が増えてきている。
	3 「先生のようにやってみたい。」と幼児が思うような、『グッドモデル』としての姿を心がけて、保育している。	2.75	・ 幼児の言葉にならない思いやサインを受け止めることが難しく、十分に理解してあげられなかった。日々の生活の中から、気持ちをくみ取り楽しく過ごせるようにさせたい。
	4 幼児同士の様々なトラブルに対して、適切な対応をしている。	2.91	・ 支援が必要な子に対する理解を深めたい。一人ひとりの目標を大切にしたい。
	5 幼児の年齢や発達に応じた無理のない関わり方をしている。	2.91	

評価 分類	具体的な自己評価項目	現況	評価項目の取組状況など
④ 教師 とし ての 資 質 ・ 能 力 ・ 良 識 ・ 適 性	1 保護者に対し、幼児や保育のことを分かりやすく伝え、信頼関係をつくることができるように、努力している。	3.00	・職員同士の関係が不十分で抜けてしまう部分があったように感じる。職員の人数も多いことで会議以外で決まった内容などが伝わっていないこともあった。 ・今と昔、確実に保育者の育て方は違うのに気付かず、若い先生方からの気付きや声掛けを当たり前のように待っている状況がある。お互い支え合うという意味をベテラン保育者は共通理解しなければならない。 ・新しい風を吹かせるための新しい取組はどんどん取り入れられる環境にしてほしい。昔からのことや新しい変化へは変えさせてもらえない。何事も許可がないと動かせないのでやりたいものが実践できず、諦めてしまうところがある。 ・保護者とは迎え等で会えた時になるべく声をかけるようにしている。
	2 幼児や保護者への対応について、公平さを欠かないようにしている。	3.33 ◎	
	3 園の教材は節約して使用することを心がけ、後で使う人が使いやすいようにしている。	3.25 ◎	
	4 職務上、知り得た個人情報やプライバシーに関わるデータなどの秘密を守っている。	3.66	
	5 クラス内は勿論、園内外の清掃や環境美化、整理整頓を実行している。	3.00	
	6 「ワンチーム」の意識をもち、教職員全員の協力的体制に積極的に取り組もうとしている。	2.91	
	7 より良い保育実践のため高い意識と情熱をもち、自らの資質向上を目指し、常に研修・研鑽に進んで取り組もうとしている。	2.75	
	8 他の教職員の意見を素直な気持ちで聞き、その上で自分の意見を述べる事ができている。	2.75	
	9 当番や日直等は確実に言い、与えられた園務分掌や役割による仕事を誠実にこなしている。	3.00	
	10 季節感を感じながら自然に対する感性を持ち、動植物に興味を持つことで命の尊さを感じている。	2.75	
⑤ 保 護 者 へ の 対 応	1 保育参観や懇談会、面談や電話連絡等を通して、幼児、保育、家庭でのあり方などについて共通理解を得られるように努めている。	2.75	・誕生会の親子給食は年1回の行事に変えた方が良くと思う。時代も親のマナーも変わる中、年1回で十分なのでは。先生の負担が大きい。対象の保護者からは、「一人で不安、子どもたちと上手く話せるか。」などの声もあった。 ・担任として一人ひとりの保護者の気持ちに寄り添ってきた。丁寧に対応することで、安心感を少しずつ持ってくれるようになった。
	2 自分の考えをきちんと話すとともに、保護者の話には心を聞いてよく聴くように努めている。	3.08	
	3 園のすべての保護者に対して、挨拶や会釈を心がけている。	3.33 ◎	
	4 保護者からのクレームに対しては、謙虚に話を聴き、園長、教頭、学年主任等に「ハウレンソウ」を欠かさず行っている。	3.08	
⑥ 地 域 の 自 然 や 社 会 と の 関 り	1 自然豊かな園の内外の環境に合わせた指導計画を作成し保育活動を実践している。	2.75	・子育て支援の内容は理解しているが、なかなか関わりがない。 ・地域環境は良いが積極的に取り入れるまではできなかった。 ・年中、年長になるとあまり支援との関係をとる必要性が無くなる。 ・自然に触れる機会が増えるようにしている。 ・限られた時間内の中で行事に追われてしまうと園内の自然に触れる意識がなくなってしまう。もっと子どもたちの先頭に立って意識をしないと、子どもたちは気付けない。
	2 地域の自然や施設を指導計画の中で位置づけ、積極的に利用しようとしている。	2.50 ▼	
	3 アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを理解し、小学校教育との円滑な接続を意識している。	2.41 ▼	
	4 地域や保護者の実態に合わせた子育て支援の重要性を理解している。	2.75	
	5 自らの保育に対して、子育て支援との連携を考えながら行おうとしている。	2.41 ▼	
	6 医療機関や自立支援教室等の専門機関と連携を図ることにより、保護者に必要な情報を提供している。	2.50 ▼	

評価分類	具体的な自己評価項目	現況	評価項目の取組状況など
⑦ 特別支援教育	1 特別に支援が必要な幼児には、個別の指導計画を作成したり、状況に応じて工夫した個別対応を行っている。	2.67	・なかなか集団に馴染めない幼児への関わり方は難しいと感じているがその子の良いところを伸ばし、気持ちを受け止めながら集団に着いていけるように援助していきたい。 ・保育の新しい取組に興味・関心がありながら、時間を上手に使えず行動に移すことができないでいる。 ・気になる子が数名いるので、就学相談、療育、専門機関との関係を図るつもりで、今後も様子を丁寧に見ていきたい。 ・個別の指導計画を作成すると言うことはできていない。 ・研修を通して学んだことを上手く活用して保育の質を上げていきたい。
	2 特別に支援が必要な幼児の就学相談、療育、保育等について、必要に応じて専門機関と連携を図っている。	2.50 ▼	
	3 特別に支援が必要な幼児の就学相談を保護者を行い、小学校に適切な助言と申し送りをしている。	2.33 ▼	
	4 幼児の個性の違いを認め、お互いが尊重できる子どもの人権教育に配慮している。	2.80	
⑧ 研修	1 各種研修会には自己課題を持って意欲を持って進んで参加している。	2.50 ▼	
	2 自分の保育について見通しや計画をもち、絶えず反省をしている。	2.75	
	3 保育の新しい取組に興味や関心を持ちながら、他園から情報を得たり、自ら学ぼうとしている。	2.58	
	4 毎年度、自らの資質向上、保育技術向上のために新しい取組に挑戦しようとしている。	2.58	

【今後取り組むべき課題】

- ・話す内容を簡潔にして子どもが安心して話を聞けるようにする。
- ・子どもが主体的に参加し課程を楽しめる様な活動の進め方を工夫する。
- ・子どもたちが、自分から進んで新しい遊びに興味を向け続けられるような、環境づくりと雰囲気作りを行っていききたい。
- ・配慮が必要な子に対して補佐の先生方に頼りすぎている点を反省している。
- ・切羽詰まった時に相談できるようになりたい。
- ・保育の流れとカリキュラムを理解し一人ひとりに合った声掛けを行う。
- ・余裕を持てるよう学年の準備を先に進んで聞く。
- ・支援の必要な子への対応について、迷った時や悩んだ時には相談して良い環境づくりをする。
- ・特支の子の対応方法、親との関わり。
- ・担当する学年の流れとカリキュラムを理解していきたい。そして、子どもの人数や気になる子どもが多いと感じるため、一人ひとりに合った声掛けや対応を行っていききたい。
- ・言動や姿勢に気を配り、子どものお手本になる関りを心がけていく。
- ・積極的に行動に移すこと。自分の業務で無くても手が空いている時は率先して行うことで業務を覚えることができることと、他の先生方とコミュニケーションが取れるため自分から進んで取り組んでいきたい。
- ・もっと一人ひとりに向き合い、気持ちを受け止めながら保育を行う。
- ・若手の指導に関して、日中の一緒に保育中ではできるが、それ以外の準備、反省、計画など様々なことが行き届かない。計画、実行はできても反省は熱が冷めてからになり、しっかりと指導が届かなかった。
- ・園児の状況を知り、今後も怪我やトラブルが無いように努める。
- ・もう少し他学年の先生に業務をお願いし、残業や土曜日出勤を減らすと良かった。しかしながら、担当学年が行わないと難しいことも多く、頼めないことも多かった。

令和7年度 まさみ幼稚園 学校評価保護者アンケート集計結果

凡例 (A:そう思う B:ややそう思う C:あまり思わない D:そう思わない E:分からない)

評価項目・内容	評価					小計
①子どもは幼稚園に喜んで通っている。	A 84	B 13	C 1	D 0	E 0	98
②園は教育方針や教育内容・活動について、よくわかるように保護者に伝えている。	A 69	B 24	C 3	D 1	E 1	98
③園だよりやオクレンジャー等の幼稚園からの手紙や連絡の内容は理解できる。	A 78	B 20	C 0	D 0	E 0	98
④園は子どもよく理解し、一人ひとりに応じた適正な援助をしよう努めている。	A 79	B 17	C 1	D 0	E 1	98
⑤園は子どもの自主性や意欲を大切にしよう努めている。	A 78	B 19	C 0	D 0	E 1	98
⑥園は子どもの基本的生活習慣が一層身に付くように努めている。	A 88	B 8	C 1	D 0	E 1	98
⑦園は遊びや諸活動を通し子どもが集中して話を聞ける態度が育つように努めている。	A 79	B 17	C 0	D 0	E 2	98
⑧園は動植物に触れ合うことを通して自然の大切さに気付くように努めている。	A 86	B 11	C 0	D 0	E 1	98
⑨園は子ども達が友だちの思いに気付き互に認め合える子に育つように努めている。	A 73	B 20	C 1	D 0	E 4	98
⑩園は社会のルールを守る子を育てようと努めている。	A 79	B 16	C 1	D 0	E 2	98
⑪参観や懇談会、様々な行事等が子ども達の成長を知る機会となっている。	A 92	B 5	C 0	D 0	E 1	98
⑫園の教職員は協力し合いチームワークが取れている。	A 66	B 29	C 2	D 1	E 0	98
⑬園は清掃が行き届き、また衛生的な環境づくりに努めている。	A 80	B 18	C 0	D 0	E 0	98
⑭園は安全管理に努めるとともに、危機管理意識向上に努めている。	A 77	B 17	C 1	D 0	E 3	98
⑮園は園便りや学年便り、HPなどで教育内容を公開することに積極的である。	A 71	B 22	C 3	D 0	E 2	98
⑯園は個人情報の保護に努めている。	A 73	B 18	C 2	D 0	E 5	98
⑰保護者は子どものことについて園や教職員に相談しやすい。	A 79	B 16	C 1	D 2	E 0	98
⑱園はPTA等の保護者の活動に自主性を尊重しながら積極的に協力している。	A 68	B 23	C 0	D 0	E 7	98
⑲園は子育て支援、未就園児教室、預かり保育等、子育て支援に努めている。	A 85	B 12	C 0	D 0	E 1	98
⑳保護者としてまさみ幼稚園を選択しわが子を入園させて良かった。	A 90	B 7	C 1	D 0	E 0	98

○欠席するのを嫌がるぐらい幼稚園が大好きで、帰ってくるとその日の出来事をいろいろと話してくれました。

○園長先生や担任でない先生方も、子どものことは勿論、保護者の顔も覚えてくださりとても相談しやすかったです。

○素晴らしい先生方ばかりでまさみ幼稚園に入園させて本当に良かったと心から思っています。安心して預けることができました。

○まさみ幼稚園は外でたくさん遊べて先生も園児も学年関係なく仲良しでとても楽しい思い出ばかりです。

○いつもあたたかく見守ってくださりありがとうございます。少し涙が出てしまうような時も寄り添って声をかけてくださったおかげで元気いっぱい幼稚園に通い、大好きな先生方やお友達と毎日楽しく過ごすことができました。子どもたちへはもちろんのこと、保護者への先生方の対応はいつもあたたかく、感謝の気持ちでいっぱいです。

○担任の先生を始め、園の先生方が子どもの成長のスピードに合わせて温かく見守ってくださったように感じます。担任の先生から幼稚園での様子をよく知らせていただき、家庭でも教えるべきことが分かりやすかったです。また、出来たことを褒める機会も増え子どもの自信に繋がったように思います。とてもありがたかったです。

○11月に行事が集中しているので可能であれば他の月に分散するなど保護者の負担軽減につながる配慮があるとありがたい。

○5、6歳児には現在のプールの大きさがやや小さく感じられる場面があった。サイズの見直しの検討をお願いしたい。

○日々の活動の記録や写真をもっとたくさんアップしていただけると嬉しい。